

新型コロナに負けない！

活動は新生活スタイルで

樹木の緑が映え、草花の競演する山歩きやハイキングに最適な気候になってきました。

例年であれば、「森林の魅（味）力を感じよう！」「森林づくり塾」などのイベントや森林散策会を実施しているところですが、今年は新型コロナの感染予防から中止・延期を余儀なくされています。

新型コロナについては、依然として感染者が発生してはいますが、政府および北海道の緊急事態宣言は解除され、新生活スタイルの下での生活が求められています。



シウリザクラ

常呂川森林ふれあい推進センターとしても、「手洗い・うがい」「マスク着用」「三密（密接・密集・密封）を避ける」など、感染予防に配慮しながらの活動再開を検討しているところです。（次ページ参照）

オホーツクの会の活動についても、当センターの感染予防対策に準じた対応をお願いするものです。

一日も早い収束を願いつつ、無理のない範囲で、できるところからの活動再開で、意にそぐわないことも多々あることかとは思いますが、状況のご理解とご協力をお願いします。

今後のイベント対応について

三密を避けて!

「新しい生活様式」の会議・催物について、北海道森林管理局から示されている考え方（骨子）は次のとおりです。

＜参加者への事前周知＞

- ① 次の場合は、参加を見合わせること
 - a、体調不良の場合
 - b、家族・近親者に感染が疑われる者がいる場合
 - c、2週間以内に入国制限されている国への渡航もしくは当該者との濃厚接触がある場合
- ② イベント当日に体温を測ること
- ③ マスクを持参・着用すること（熱中症予防のため、適宜はずすこと）
- ④ 手洗い・アルコールによる手指消毒をすること
- ⑤ 手拭き用のハンカチ等を用意すること
- ⑥ 主催者・参加者等との距離を確保すること
- ⑦ 主催者が行う感染予防のための指示に従うこと
- ⑧ 感染の拡大傾向が認められる場合等、中止の場合があること



＜イベント当日の対応＞

- ① 参加者の体調を確認すること（書面提出）
- ② 氏名・連絡先等の確認
- ③ イベント当日の体温確認
- ④ マスク・ハンカチ等の確認

＜その他＞

- ① 体調不良等の場合、受付時に参加見合わせを求めることがある
- ② イベント実施から2週間以内に、新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、連絡すること
- ③ バス等、車両の乗り合わせについては、密接を避けるとともにマスク着用、換気を心がけること
- ④ 会議等は、極力、少人数・短時間で（ウェブ会議の活用）

三密（密接、密集、密封）を避けることが基本です

自然観察・森林散策で

新たな発見を！

「コロナで自粛疲れのアナタ！たまには野山・森林でリフレッシュしませんか？」とは言っても、「オホーツクの会」の活動は、無理せず少しづつの活動になるので、個人的な活動としてですが・・・。

オホーツク地域、特に、北見市は自然に恵まれています。家から車で数分走れば緑が丘森林公園、南丘森林公園、北見ヶ丘、フラワーパラダイスなどがあります。

さらに、市内にも野付牛公園、東陵公園、常盤公園などがあり、自然散策する場所には困りません。

少し足を伸ばせば、仁頃山、ワッカ原生花園、鹿の子沢（置戸）、ノンノの森（津別）、幌岩山（佐呂間）など、1時間ちょっとで阿寒・摩周国立公園へも行けちゃう。（「オホーツクの森」も忘れないで！）

ガイドしてくれる人がいなくても、花や木の名前がわからなくてもいいじゃない！

たまにはマスクを外して、きれいな空気を吸って、木々の緑をながめ、そこに集まる生き物たちの営みを観察してみましょう。新たな発見が待っているはずです。

<小島>

ワッカ原生花園では常呂高校のボランティアガイド（土曜日）、また、ノンノの森でもガイド（有料）をお願いすることができます。

なるほどクイズ

（答えは会報のどこかに…）



野外活動にはいくつかの危険が伴います。
そのうちの 하나가ハチで、日本では毎年 30~40 名が命を落としています。

そこで問題です。人を刺すハチは？

- ① オスだけ ② メスだけ ③ オス・メス両方

写真で伝えよう！

森林

自然

「活動広め隊」では、森林・自然のすばらしさを一般市民へPRするための**写真展**（コンテストではありません）を計画しています。

時期 2020年11月17～24日

場所 NHKぎゃらりー

自然、生き物を題材にした「私の好きな自然」**【2L版4枚1組】**を一般市民も含めて広く募集します。（募集は10月からの予定です）

当初は、4月予定でしたが、**新型コロナウイルスの感染予防のため、延期したものです。**

会員の皆さんの積極的な出展（これから撮影でも間に合います）をお願いします。

詳細・問い合わせは植村または渋谷まで。

＜活動広め隊隊長 植村＞



森の黄色

春は雪どけの沢、エゾノリュウキンカからスタート。夏は、キノコや花に彩られ、晩秋の黄葉で冬の眠りに。
北見市緑町 森林三郎

【なるほどクイズ】 答え

ハチの毒針は、有刺類と呼ばれる仲間が持っている産卵管が変化したものですから、答えは②メスだけです。



人を刺すのは、巣を作り社会生活をするハチで、毒針は外敵から巣を守るための武器として使われるものです。



ちなみにオスは秋に生まれ、働くことも、敵と戦うこともなく、越冬する次世代の女王バチとの生殖活動に励みます。

（ちょっと、うらやましい～）



新型コロナの発生状況等によっては、中止・内容変更になる場合があります。

○第1回自主活動 (5~10月第2火曜日&必要に応じて)

2020年 7月14日(火) 9:30~

集合 森の家

内容 「ふれあいの森」協定にもとづく活動他

持ち物 作業できる服装、飲み物等

★昼食をとらず午前中の活動で解散することとします

申込み 7月7日(火)

○第2回自主活動 (5~10月第2火曜日&必要に応じて)

2020年 9月8日(火) 9:30~

集合 森の家

内容 「ふれあいの森」協定にもとづく活動他

持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物等

申込み 9月1日(火)

○山の日記念「仁頃山散策会」(実施検討中)

2020年 8月22日(土)

主催 北海道森林管理局(常呂川森林ふれあい推進センター、網走中部森林管理署)、北海道(オホーツク総合振興局東部森林室)の共催です

集合 富里ダムキャンプ場駐車場

★詳細は、常呂川森林ふれあい推進センターへ確認願います。

現地集合・現地解散予定です

**例年実施・協力(含む共催)していた
次の行事は中止です。**

○オホーツクの森づくり(共催:常呂川FC)

6月予定→7月以降で検討→中止

○こども探検隊(共催:常呂川FC)

○キッズチャレンジ(主催:生田原教育センター)

○農林水産省こども体験デー(北海道森林管理局他の共催)

○パネル展(共催:常呂川FC)

会場(緑のセンター)から中止の連絡がありました。

木々に関するつぶやき

【シラカンバ】

白いカンバでシラカンバ（シラカバともいう）。
太さ 40cm、高さ 25m、寿命 100 年程度で山火事跡地
など生えるパイオニア（先駆）種である。



樹皮は白く、枝の落ちた後が黒く「への字」になるのが特徴、若枝は黒っぽい。

春先、新芽が出るまでの間に採取できる樹液は、飲料とする他、キシリトールの原料、化粧品などにも利用される。

会費納入のお願い

当会は皆様からの会費を基に活動を進めており、滞納者が増えると運営に支障を来すことが避けられません。

年会費を滞納し続けた場合は、継続の意思がなく退会と判断せざるを得ません。（退会される方は事務局へ一報願います）



心当たりの方はよろしくお願ひします。

— 納入方法 —

- ・ 総会および会が主催・参加するイベント時に納入
(会報等でご確認ください)
- ・ 常呂川森林ふれあい推進センター内の事務局に納入
- ・ 会の郵便局口座に振り込む（手数料がかかります）

振込先口座 19960-8073231

森林ボランティア「オホーツクの会」

お問い合わせ



北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3
TEL 0157-23-2960 FAX 0157-26-2144